

令和6年度 第2回大津市地域公共交通活性化協議会

日時：令和7年1月24日(金) 10:00～

場所：大津市役所 別館1階 大会議室

1 開会

- 事務局（会長あいさつ及び配布資料の確認）

2 議題

(1) 報告事項

① 令和6年度デマンド型乗合タクシーの運行状況について

- 事務局

（報告事項①の資料について、事務局より説明）

- 委員

利用頻度の多い利用者を除いた便ごとの分析をしてもよいと考えるが、どうか。

- 事務局

日々の運行データより、ヘビーユーザーの利用状況を考慮した分析を行い、デマンド型乗合タクシーの運行内容を検討する必要があると考える。

- 委員

大変良いデータ分析をしていただいた。今までは、総数で利用者の増減の話をしてきたが、もう少し細かく時間帯やODを見たことで、利用されている方の特性が見えてくるという点で、良い分析である。

今回で言うと、ほとんどの地域でご自宅から駅方面に向かわれて、用事を済まして、最後はスーパーで買い物をしてデマンド型乗合タクシーで帰宅されるという傾向が分析結果から見えている。

そこから今後考えられることは、デマンド型乗合タクシーを利用されている方々の待合環境の向上を考える際には、スーパーと連携して考えていくと良いというのが見えてくる。これは、今回の分析の大きな成果だと考えられる。今後も定期的に分析データを本協議会で共有いただきたい。

② 第2次大津市地域公共交通計画の策定について

- 事務局

（報告事項②の資料について、事務局より説明）

(2) 承認事項

① 令和6年度事業計画の一部変更について

○ 事務局

(承認事項①の資料について、事務局より説明)

○ 会長

(承認事項①について決議し、異議なし)

承認事項①について、異議なしと認め、本件は承認されたものとする。

② 令和7年度デマンド型乗合タクシーの運行内容について

○ 事務局

(承認事項②の資料について、事務局より説明)

○ 会長

(承認事項②について決議し、異議なし)

承認事項②について、異議なしと認め、本件は承認されたものとする。

(3) その他

① 国の補助制度について

○ 委員

昨年の7月から、「交通空白」解消本部を本省で立ち上げており、取組内容としては、地域及び観光の足対策として、お困りの地域をなくしていくというところ。

11月25日には、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームが立ち上がり、自治体だけでなく、多様な分野の関係者や大企業からスタートアップまでの幅広い関係者が参画するようなプラットフォームになっている。

自治体や交通事業者においては、困りごとを解決する手段が見つからないときに、様々なソリューション提案や商談会のような形でマッチングをしていくなど、現状は、各自治体が同じような困りごとを抱え、企業に声かけされている状況になっているので、一体的に同じような困りごとを考えていこうというもの。

次に予算について、令和7年度予算において、「交通空白」解消緊急対策事業が新しいメニューになっている。新たに導入する交通サービスの運行主体に対して補助を行うもので、新たに導入する交通サービスとは、路線バスではなく、公共ライドシェアや日本版ライドシェア等、その地域にとって新しいことをする場合は、この予算が使えるようになっている。応募にあたっては、2つ条件があり、1つ目は自治体が「交通空白」と認識していること、2つ目は、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームへの加入が条件になっている。

次に、共創モデル実証運行事業については、昨年度から引き続き予算化されているが、国としては、単なる赤字補填は予算がつかなくなっており、交通事業者

のみに任せているような地域ではなく、様々な輸送資源を活用し、地域と一緒に
なって取り組んでいる事業を支援していく方向性になっている。あとは、DX・GX
による省力化・経営改善支援や地域輸送資源活用事業などのメニューが出てきて
いる。今後、予算の詳細については自治体や交通事業者向けに説明会があるの
で、そちらでご確認いただければと思う。

② 交通事業者からの情報共有について

○ 委員（京阪電気鉄道）

昨年の12月3日に発表した、今年の10月1日から予定している運賃の改定に
ついて情報共有。現時点は申請段階で、認可されて初めて決定となる。

この度の運賃改定では、およそ15%の運賃改定を予定している。京阪線と大津
線では異なり、京阪線では、現在バリアフリー料金制度があり、そのバリアフリ
ー料金制度を一旦廃止して、運賃改定を実施することになる。大津線について
は、現在170円の初乗り運賃が200円になる。初乗りが5キロまでになり、大津
線は短い区間の利用者が多いので初乗り運賃でのご乗車が多いと思うが、6キロ
から10キロまででは240円が280円に、11キロから15キロでは、330円が380
円なる。また、定期券についても同様に、ほぼ同じような割合で上限運賃まで改
定させていただく。

また、1月10日に発表させていただいたが、3月22日から京阪線のダイヤ改
定を予定している。大津線においては、今回のダイヤ改定はない。改定内容とし
て大きな変更点は、昼間時間帯の運転パターンを15分間隔から12分間隔に変更
し、利便性の向上を図る。ただし、乗車率の低い時間帯等においては、現在7両
で運行しているものを4両での運行に変更する。今回のダイヤ改正は、万博が始
まるので、その臨時列車に対応するための改定になっている。

この臨時列車に合わせて京阪バスにおいては、中之島から万博会場までノンスト
ップのシャトルバスを運行する。臨時列車の方は、予約なしでご利用いただける
が、シャトルバスについては、予約をしていただく必要がある。京阪バスのホーム
ページに詳細は書かれているが、KANSAI MaaSというアプリで予約いただけ
る。また、春ごろには、アプリではなくWebにおいても予約することが可能にな
る。こちらのメリットは、万博開催中、会場に向かわれる時間帯が、ちょうど出
勤時間と重なり、地下鉄の中央線が相当混雑することが予想されている。そのた
め、楽に万博会場に行けるというメリットがあるので、ぜひご利用いただければ
と思う。

○ 委員

運賃改定について、利用者の方から、御社の方にご意見等が届いているのであれ
ば、ご紹介いただきたい。

○ 委員（京阪電気鉄道）

ご意見が多く届いているわけではないが、当然、運賃が上がることについては、喜ばないお客様もおられるので、中には、苦情をいただくこともある。例えば、京阪電気鉄道の場合、大津線が赤字だが、京阪線で黒字が出ているため、大津線の赤字を京阪線の黒字から回して、経営が成り立っているという状況がある。なので、京阪線の利用者からは、大津線の赤字をなぜ京阪線の利用者が払わないといけないのかというご意見をいただく。その他、様々なご意見がある。

○ 委員（近江鉄道）

2025年4月1日大津営業所管内におけるダイヤ改正について、従前からお話ししているとおり、慢性的な乗務員不足でこの問題解決に現在も至っていない。2024年問題の労働環境の変化に伴って、人手不足は現状も続いている状況で一部大津営業所管内の路線を再編したいということで、情報共有。

路線の再編として2路線の再編を予定している。1路線目は湖岸線。現在、平日を石山駅から浜大津の区間を運行しているが、これをイオンモール草津に延伸するという再編。便数としては、1日9往復運行。ただし、イオンモール草津へは、他にも南草津駅と瀬田駅から運行しているため、石山駅から新たに接続することにより、各駅からの便数調整をし、平日に関しては、各路線の合計では増えているが、南草津イオンモール線は、平日で6便減、土休日で14便減になり、瀬田イオンモール線は、平日で5便減、土休日で29便減になる。湖岸線の乗車人員については、概ね3名弱であり、直近11月の利用状況としては、多くても6名というところで推移している。

もう1路線の再編は、野郷原線及び神領団地線の再編。神領団地線の9時～16時台の便を、野郷原線の神領団地経由に付け替えることで、効率的な輸送を行う。便数としては、全体的には減少になるが、神領団地を経由することで、神領団地周辺にお住まいのお客様は、便数に大きな減少はない。現在は、大津管内の再編の報告をしていますが、滋賀県下においても同様に減便しており、今後も人材不足が改善されなければ、再編を考えていかななくてはならない状況。一旦は、今回の最小限で減便をしているので、地域の方に少しでもご利用いただければと思う。

○ 委員

路線の再編について、利用されている方への周知はどのようにされるのか。

○ 委員（近江鉄道）

正式に申請手続きをした後に、概ね改正の1か月前には、ホームページや各バス停、バス車内等で周知をしたいと考えている。

○ 委員（帝産湖南交通）

運賃改定について、昨年4月に弊社で実施したが、昨年12月に京阪バス、今年4月に近江鉄道で運賃改定されることになり、この3社が重複している路線が石山駅にあるため、その路線について、運賃を合わせる形での運賃改定を予定している。具体的には、石山駅から橋本と建部大社のバス停までと、石山駅から東レ北門までのバス停を、現状230円の運賃を250円に上げる形で調整をしている。こちらの内容を今年4月1日から予定をしている。

○ 委員（滋賀県）

「滋賀の公共交通未来アイデア会議」という公共交通について、県民の皆様と一緒に考えるイベントを2月15日土曜日にイオンシネマ草津で実施する。今年度、滋賀県では交通計画の策定に向けて、12回の公共交通に関するワークショップを開催しており、どのような公共交通が必要なのか、どこまでであればご負担いただけるのかを議論し、様々な意見をいただいている。このイベントでは、その12回のワークショップで出た意見をまとめ、皆様に報告したうえで、スマートフォンやWebを活用したシステムを使い、参加者全員のご意見をお聞きしながら、意見交換を全体で実施したいと思っている。本協議会にご参加いただいている皆様についても、非常に公共交通に関心が高い方々だと思うので、ぜひご参加いただき、県民フォーラムの方でもご意見をいただければと思う。

4 閉会